

平成 29 年度 日本財団助成事業

社会的養護当事者による当事者に対する

自立支援および拠点づくり

# 報告書



特定非営利活動法人なごやかサポートみらい

平成 29 年度 日本財団助成事業  
「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり」を終えて

理事長 蛭 沢 光

社会的養護関係者の皆様、日頃は当法人の活動に多大なるご協力とご理解を頂き、誠にありがとうございます。

この度「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり報告書」が出来上がりましたのでここにご報告させていただきます。各事業のチラシや参加者の感想等生の声が載っていますのでぜひお読みください。

こうして着実に事業を進めてくることができたのは、今この報告書を読んで頂いている皆様のおかげです。深く感謝致します。

最後になりますが、これからも社会的養護の当事者一人ひとりを支えるために、負担なく、無理なく、できることを楽しくやっていきたいです。

今後ともご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

も く じ

- 自立支援拠点事業 P1～
- 訪問事業 P5～
- 奨学金説明会 P7～
- 自立支援について P14～
- 奨学金資料（全養協 HP より） P17～
- 日本財団夢の奨学金資料 P21～
- ドコモ奨学金資料 P25～
- 民間の奨学金資料 P27～
- 私の将来の夢 P34
- 読んでみてほしい書籍一覧 P35～

# 社会的養護当事者を支える 『自立支援拠点事業』

特定非営利活動法人なごやかサポートみらいでは、自立に関する様々な相談に応じます。気軽に何でもご相談ください。

## ご相談方法



メールの場合

info@nagoyakamirai.com  
(返信に時間が掛かる場合があります)



電話の場合

052-718-7188(不在時留守電対応)



来所の場合

一度ご連絡ください  
(来所日時を調整します)



### 公共交通機関

名古屋駅からは市営地下鉄東山線で栄にて乗りかえ  
名城線「黒川」駅下車、3番出口より徒歩10分  
金城町2交差点を西に50m

〒462-0058  
名古屋市北区西志賀町5-13-1  
特定非営利活動法人なごやかサポートみらい

〒462-0058  
名古屋市北区西志賀町5-13-1 司マンション202号  
自立支援拠点事業 事務局

TEL&FAX: 052-718-7188(不在時留守電対応)  
<http://www.nagoyakamirai.com>

mirai



平成29年度 日本財団助成事業「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり」  
自立支援拠点事業 問合せ・相談件数

		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		4月	来所	0	0	0	0	7
	電話	0	0	0	1	0	1	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	0	0	0	0	4	4	
	合計	0	0	0	1	11	12	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		5月	来所	3	5	3	0	15
	電話	0	0	0	0	6	6	
	FAX	0	23	3	1	3	30	
	メール	1	0	0	0	2	3	
	合計	4	28	6	1	26	65	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		6月	来所	13	2	3	0	4
	電話	0	1	0	0	0	1	
	FAX	0	2	0	0	1	3	
	メール	0	0	0	1	1	2	
	合計	13	5	3	1	6	28	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		7月	来所	8	5	0	0	2
	電話	0	0	0	0	0	0	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	1	0	0	0	1	2	
	合計	9	5	0	0	3	17	



平成29年度 日本財団助成事業「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり」  
自立支援拠点事業 問合せ・相談件数

		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		8月	来所	9	1	1	0	2
	電話	1	0	0	0	0	1	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	1	0	0	0	0	1	
	合計	11	1	1	0	2	15	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		9月	来所	8	4	0	0	2
	電話	0	0	0	0	0	0	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	3	2	2	0	7	14	
	合計	11	6	2	0	9	28	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		10月	来所	4	2	1	0	5
	電話	0	0	0	0	1	1	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	0	0	0	0	6	6	
	合計	4	2	1	0	12	19	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		11月	来所	6	1	2	0	3
	電話	1	0	0	0	1	2	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	2	0	0	0	0	2	
	合計	9	1	2	0	4	16	



平成29年度 日本財団助成事業「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり」  
自立支援拠点事業 問合せ・相談件数

		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		12月	来所	10	2	2	0	4
	電話	0	0	0	0	0	0	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	0	0	2	0	1	3	
	合計	10	2	4	0	5	21	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		1月	来所	1	10	1	0	10
	電話	0	2	0	0	1	3	
	FAX	0	4	0	0	0	4	
	メール	2	2	2	0	6	12	
	合計	3	18	3	0	17	41	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		2月	来所	7	4	2	0	6
	電話	0	2	0	0	1	3	
	FAX	0	0	0	0	0	0	
	メール	0	0	0	0	2	2	
	合計	7	6	2	0	9	24	
		当事者	施設職員	里親・FH	児相	その他	合計	内相談事業分
		3月	来所	1	6	0	0	17
	電話	0	1	0	0	0	1	
	FAX	0	0	0	0	1	1	
	メール	1	1	0	0	1	3	
	合計	2	8	0	0	19	29	



## 訪問事業



平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月までの間に 24 回訪問  
進路に関することや自立支援に関して話をしたり、相談を受けました。

4 月 13 日(木) 愛知県内児童養護施設 (職員 3 名)

5 月 18 日(木) 愛知県内児童養護施設 (職員 2 名)

6 月 12 日(月) 愛知県内児童養護施設 (職員 6 名・子ども 1 名)

6 月 15 日(木) 愛知県内児童養護施設 (職員 10 名)

7 月 4 日(火) 愛知県内児童養護施設 (職員 20 名)

7 月 19 日(水) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

8 月 16 日(水) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

8 月 17 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

9 月 22 日(金) 愛知県内自立援助ホーム (職員 1 名・子ども 1 名)

9 月 28 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

10 月 5 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 3 名)

10 月 19 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

11 月 10 日(金) 愛知県ファミリーホーム協議会 (養育者 7 名)

11 月 16 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 5 名)

11 月 23 日(木) 愛知県内自立援助ホーム (職員 6 名)



12月4日(月) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)

12月11日(月) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)

12月14日(木) 愛知県内ファミリーホーム(養育者2名)

1月20日(木) 愛知県内児童養護施設(職員4名)

1月24日(水) 愛知県内ファミリーホーム(養育者2名)

2月9日(金) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)

2月26日(月) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)

3月21日(水) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)

3月26日(月) 愛知県内自立援助ホーム(職員2名)





第13回

# 社会的養護の下で暮らす高校生 対象の大学等助成制度説明会

主催：NPO法人なごやかサポートみらい

協力：NPO法人こどもサポートネットあいち

平成23年度～スタートした説明会も今年で7年目を迎え、これまでたくさんの方々にご参加頂きました。引き続きより良い会になるように取り組んでいきますので宜しくお願い致します。この度「第13回社会的養護の下で暮らす高校生対象大学等助成制度説明会」を下記の内容で開催します。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

夢とみらいを  
共に描こう！

日時 2017年6月18日(日)13:30～16:30 ※13:00より受付開始

会場 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地  
ウィルあいち1階 視聴覚ルーム  
TEL：052-962-2511 (代表)

地図



【交通案内】  
地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分  
名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分

【お願い】  
※駐車場は地下と近辺にコインパーキングがありますが、  
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

対象 社会的養護の下で暮らす高校生、児童養護施設職員、里親、児童相談所職員  
高校の進路担当教員、児童福祉等担当の大学教員等

定員 45名 ※定員になり次第締め切りますので早めにお申込ください。

参加費 無料

内容

- 13:30～ 主催者あいさつ  
奨学金制度の説明とアドバイス(NPO法人なごやかサポートみらい)
- 14:00～ 先輩が語る進学「施設生活・入学までの取り組み・近況報告」  
藤田 明日果さん(日本福祉大学4年)  
飯森 美羽さん(中京学院大学短期大学部2年)
- 14:40～ 休憩
- 14:50～ 日本財団「夢の奨学金」の概要説明と今年度の募集について  
芳川 龍郎さん(日本財団 ソーシャルイノベーション本部 国内事業開発チーム チームリーダー)
- 15:20～ グループ討議(高校生と大人で分かれませ)
- 16:20～ 閉会のあいさつ アンケート記入
- 16:30 終了予定

申し込み&  
お問い合わせ

NPO法人なごやかサポートみらい  
TEL/FAX (052)-718-7188  
E-mail info@nagoyakamirai.com

mirai



「社会的養護当事者による当事者に対する自立支援および拠点づくり」

**第14～18回社会的養護の下で暮らす高校生対象の大学等助成制度説明会**

日 時：第14回 平成29年7月9日(日) (締切7月2日)  
 第15回 平成29年8月11日(金) (締切8月4日)  
 第16回 平成29年8月12日(土) (締切8月5日)  
 第17回 平成29年9月20日(水) (締切9月13日)  
 第18回 平成29年9月23日(土) (締切9月16日)  
 時間→13:00～15:00 (17回・18回は10:00～12:00開催)  
※15:30～申請書類の書き方・面接指導・進路相談対応可 (希望者のみ)  
希望者は事前に申し出ください。  
 内容→奨学金制度等の説明 (30分)、先輩当事者の話・質問タイム (1時間半)

会 場：名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1 司マンション202号  
 ※名城線黒川駅3番出口より徒歩10分 (公共交通機関をご利用ください)

定 員：15名程度

申込&問合せ先：特定非営利活動法人なごやかサポートみらい  
 TEL&FAX(052)718-7188(不在時留守電対応)



—第14～16回社会的養護の下で暮らす高校生対象の大学等助成制度説明会申込用紙—

ふりがな 施設名・個人名								
住 所	〒 —							
連 絡 先	TEL				FAX			
ふりがな 児童・大人氏名	学年 勤務・養育年数	参加希望日に○を記入					どちらか選び ( ) の内容を記入	
		14 回	15 回	16 回	17 回	18 回	就職希望 (希望職種)	進学希望 (志望校)
質問記入欄								
主催者記入欄	受取日				No.			

申込用紙に記載されている個人情報については、本事業の実施のために利用させていただきます。

FAX送信先 052-718-7188

## 第13～18回社会的養護の下で暮らす高校生対象の大学等助成制度説明会

参加者の



### 《参加者数》

第13回	平成29年6月18日(日)	大人48名・子ども28名
第14回	平成29年7月9日(日)	大人2名・子ども7名
第15回	平成29年8月11日(金)	大人0名・子ども1名
第16回	平成29年8月12日(土)	大人3名・子ども6名
第17回	平成29年9月20日(水)	大人5名・子ども0名
第18回	平成29年9月23日(土)	大人13名・子ども2名

### 1. 奨学金制度の説明とアドバイスについて、ご満足いただけましたか。

- ・基本的なことを説明していただけて良かった。
- ・正しい知識を持つことはとても大事なことで、正しい知識を持ち子どもに対応するのと何も知らないで子どもに対応するのでは全く違うこと。
- ・初めて知れたことなどがたくさんあったので自分のためになりました。
- ・とにかくたくさんあるという事、それと同時に自分が探さないと手が回らないと言う事が分かった。
- ・夢の奨学金は、自分には無理かなと思っていただけ、お話を聞いて、チャレンジしたい！自分ならいける！と思えたからです。
- ・とてもよく分かりました。これからのプランの参考になりました。
- ・体験・経験を基に何が重要・重要かについて具体的に説明していただける。
- ・以前にも参加させてもらいましたが、施設では把握しきれない情報量にびっくり。
- ・施設の方でキャッチしていた情報と+αの情報を得ることが出来た。
- ・アルバイトをすると人間関係がよくなる、というのを聞いて良かった。
- ・夢の奨学金をより詳しく理解することが出来た。
- ・奨学金制度が全国ですごく多くあることを始めて知りました。また、詳しく（子どもにも分かるように）教えてくださったので良かったです。
- ・希望が見えた、詳しく分かった。
- ・奨学金の給付型が思ったよりも多く驚きました。どのような人が対象になるか、面接での審査ではどのようにすれば良いかなどが分かったので、本当に良かったです。
- ・夢の奨学金について詳しく知りたいと思っていたので、直接お話を聞くことが出来て良かったです。
- ・奨学金の種類が多い、ということが特に分かり、さらに“夢の奨学金”の説明があったのが大きかった。
- ・知っているようで知らなかったことが多かったです。
- ・日本財団夢の奨学金について、担当の方から直接話を聞くことが出来て良かったです。どれだけ真剣に将来について考えているかが大切だと子どもと一緒に聞いたことで、園に戻って今後の話をするとき話しやすいかなと思いました。
- ・奨学金について詳しく分かり、大学に行こうという思いが強くなった。



- ・聞ける機会がないので助かった。
- ・様々な奨学金制度や、支援して下さる財団の資料について、漠然としていたので、今回知ることが出来たからです。
- ・まず、自分で調べるべきだなと思った。奨学金の種類が多いだけに、どれがいいのか選び方が困りそうだなと思ったので、選び方のポイント・アドバイスがあればありがたい。
- ・どんな事から考え始めればよいか分かった。
- ・多くの奨学金をネット検索するのが大変だった。特に該当するかしないのか、専門用語も多いため、今後はわかりやすいHPなどが出来るといいと思う。
- ・奨学金を取りたいと改めて思った。
- ・当事者の話も聞いてとても分かりやすかった。
- ・制度やアドバイスについてある程度分かった。
- ・具体的な目標を持って話が聞けた。
- ・“説明とアドバイス”の高校生への皆さんへの3項目は、より具体的で参考になりました。施設の子どもに話をして、進学・進路の話の参考にしたいと思います。
- ・実際に大学等へ進学した当事者からの話は子どもたちに落ちていたのではないかと思います。
- ・知っている奨学金もあったが、まだまだ知らないものもあり参考になった

## 2. 先輩が語る進学について、ご満足いただけましたか。

- ・進学するためには、やはり一番は保護者からの支援が必須であり、そこが確実ではないとドロップアウトするケースも多いため、少しでも苦勞をなくすためこちらの想いを押し付けがちであるが今回話を聞いて子どもの可能性を信じていきたいと思った。
- ・3名とも、素直に考えや想いを話して下さって心に残るものでした。
- ・体験からくる言葉はとても重い。
- ・皆さん話が聞きやすかったからです。
- ・苦勞を重ねている先輩方の話を聞くと自分だけじゃないんだと思える。リアルな大変な部分もあるけどその分備えられる。
- ・リアルな話を聞いて、強く生きているのだと感じ、私の背中をおしていただけたので満足しました。
- ・一緒に来た高3の子にも様々なところで響いた感じでした。
- ・経験者の話がきけたから。
- ・これから進学を目指す高校生の参考になると感じた。
- ・3人とも自分の言葉でしっかり話をされていて大変よかったです。ここまで語れるようにまでは、色々なことを乗り越えたんだな~と思うと胸がジーンとしました。
- ・このように話が聞ける機会がなかったので非常に貴重であった。
- ・色々な進学の仕方があるんやなあと思った。
- ・当事者の話で困っていた事やがんばらなければならないこと様々な思いでやっていることがわかったため。
- ・子どもにとって刺激のある話でした。
- ・奨学金制度を使って今を素晴らしく生きている話を聞いてよかった。

- すごくリアルに感じれた。
- 大学を決めて入学するまでは、早めに奨学金を決めて受からなければ大変な思いをすることがよく分かりました。私はまだ大丈夫と思っている部分があったので、この話を聞いて今からでも調べないと、と思いました。
- 体験談は、人の心に響くので良かったと思います。
- その人自身の本音が聞けたと思いました。実際に困ったこと、頑張ったこと、一つ一つを施設に持ち帰り伝えていきたいです。
- 実例があるというのは安心できるし、参考になることも多かったから。
- 自分が支援していくうえで参考になりました。
- 卒園・進学に関して、子どもが何に対して不安を抱いているのかなどを聞くことが出来て良かったです。
- 一人でやりくりしないといけない中で、実際にそのような状況で生活している方の話を聞くことが出来たから。
- 聞ける機会がないので助かった。聞いてよかった。
- 実際に体験していることについて聞くことが出来、共感することが出来たからです。
- よりリアルなお話しが聞けて良かったです。
- 当事者の生の話が聞けたこと。
- なかなか話を聞けないので聞いて良かった。
- 夢の奨学金をとるときに大変だったことをもう少し聞きたかった。
- 飯森さん、尊敬します。
- 子どもにも分かりやすく、覚悟が必要なこと等も話してもらえてよかった。
- どのように経済などの問題を解決するかなど、参考になった。
- 自身が目指す未来予想が目に浮かぶようだった。
- どの子も人間関係で悩んでいること、家族のイメージが持てていないことは、おかれた境遇からくるものだと思われ、施設で育った子どもへの支援に大事なことだと思いました。
- 進学した後に困ることやそれぞれの経験から聞けたことは良かったです。バイトで得られることって多いですね。

### 3. 質疑応答について、ご満足いただけましたか。

- 上記より詳しくわかるような内容だった。
- 自分の聞きたいことに答えてもらえ、満足です。
- 直接、気になることが聞けていい。
- 聞きたいことが聞けたりした。
- 私の質問を2つも取り上げて頂けました。
- 自分のなかで疑問に思っていたことがスッキリした。夢の奨学金に関して希望が持てた。
- 書類と面接の基準が聞けて良かったです。
- よりよかった。質問に答える方が本音が聞けたのではないか。
- 紙に書いて集める、というかたちは良かったと思います。

- “職員に求めること”を知れてよかった。
- 子どもたちに行動の原点を置いてください。久保さんのコメントに日々の支援を振り返りました。
- 大切なことが分かった。
- 個々の意見があってよかった。グループセッションできたらよかった。
- 分かりやすかった。
- 具体的なことも分かり良かった。
- 率直なお話しが聞いて良かったです。
- これからの大学進学に向けて、生かしていきたいと思えることが出来ました。
- 返答が分かりやすかった。
- 本音が聞いて良かったです。職員として胸に突き刺さるような言葉もありましたが…良かったです。
- それぞれの道を通って来た方々なので、言っていることは本当に分かりやすく伝わってきました。
- もっとたくさん聞けると良かったです。HP、見させていただきます。
- 時間の問題で少ししかできませんでしたが、大学のメリット、面接などのアドバイスを聞いたのは本当に良かったです。ただ、もう少し時間を増やせるのであれば、もっと質疑応答を進めてほしかったです。
- 自分が直接聞けないことも紙に書くことによって聞いた。
- 質問が具体的で、解答も明確だったので。

#### 4. この企画全体について、ご満足いただけましたか。

- とても丁寧に教えていただけたので良かったです。
- 高校生と職員と別に受講できるようになればいいかなと思います。子どもには長すぎると思います。疲れてあまり聞いていないようです。
- 話を聞くことによってすごく身近に感じれた。希望が見えて、やる気が出た。
- 話が聞いたことは本当に良かったです。実際に先輩方や職員の方の話はよく考えさせられるものでした。よく、自分には奨学金を調べて、申請していこうと思いました。
- いろいろと知らないことを知ることが出来て良かったです。
- 知りたいこと、気になっていたこと、たくさん聞くことが出来ました。また機会があれば、お話しできると嬉しいです。
- とても分かりやすかったです。
- 奨学金について知ることが出来たこと、実際に子どもたちの声が聞いたことが良かったです。
- 空気が堅苦しくなく、居心地が良かったから。
- いろいろな話が聞けた。
- 今回、この説明会に参加させていただいたおかげで、大学進学に向けての土台が少し固まる事が出来ました。この説明会のお話を生かし、残り約9カ月頑張っていきたいです！
- 職員にとってもよかったが、高校生本人にとっては、もっといい機会になったように思う。より頑張ろう！という意欲につながっているようだったので、職員としても、サポートしなきゃ！という気持ちになりました。ありがとうございました。
- 今回は職員のみ参加になってしまいましたが、高校生本人にも聞いてほしい内容だった。



- まずは知ることが大切だと思った。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。
- たくさんの奨学金のことが知れて良かった。
- あらためて進学しよう！と思いました。
- 大切なことや、いろいろなことが知れて良かった。
- ありがとう。これほどの台紙を頂けて。これをみて探してみます。
- 進学する子どもが（施設内の子どもに）いないのでどのような支援をしてよいか、まだ答えが出ないけど進路指導の参考にしていきたいと思います。
- 夢の奨学金をとれた子たちの将来が明るいことが分かりました。夢の奨学金なしで大学等に進学された子たちはどんな風にして卒業したのかを知りたい。
- とてもすごい話だと思いました。
- 当事者の話がとても良かった。
- 奨学金の種類だけでなく、実際に進学した話も聞くことが出来、今後の参考にもなった。もちろん資金を少しでも多く貯めることも大切であるが、最終的には子ども自身の想いが一番であることを知った。
- 助成制度について、とても分かりやすく説明していただけて、ありがとうございました。
- とてもいい話が聞くことが出来た。
- 自分で調べるのも大切だけど、直接かかわっている人の話が聞けて良かった。とても。
- いろいろなことが私に自信を与えてくれました。この企画は続けていく価値が大いにあります。参加できたことに感謝しています。本当にありがとうございました。
- 奨学金について今まで以上に理解できた。
- 進学を目指す高校生のモチベーションアップにつながる。具体的に何を頑張ればよいかイメージしやすいし、行動するきっかけになる。
- また、このような企画を続けてほしい。
- 自分のやりたい方向が確実になるような内容だった。

## 「児童養護施設の自立支援について思うこと」



私は、児童養護施設を退所し、福祉大学に進学、この春卒業します。また、縁あってなごやかサポートみらいの活動に度々関わらせていただいています。それらを通して、「児童養護施設の自立支援について思うこと」について書かせていただきます。ある一意見、参考としてご覧いただければ幸いです。

まず、自分自身についてです。私は、9年間児童養護施設で生活をしました。熱心に支援していただいた児童相談所の職員さんと児童養護施設の職員さんらに感謝し、憧れ、今度は自分が人の役に立つ仕事がしたい、この人たちみたいになりたい、と卒園後は福祉大学に進学し家庭復帰をしました。父子家庭ですが、父親との愛着関係はうまく築くことが出来ず、臨んだ家庭復帰ではありませんでした。そのため、自宅が安心できる場所でなく、父との関係不和は続き、日ごろの家事の負担、2時間通学、等々慣れない生活に疲弊しました。それでも、私が大学卒業まで粘ることができたのは、憧れの施設の担当職員、児童相談所職員のサポートと存在、大学の音楽サークル、その友人やゼミの先生、興味のあることについて深く学ぶことのできる教育環境があったからこそだと思います。施設を出た私には、経済力がなく、どうしても父を頼り生活していく必要がありました。父とのかわりについて卒園前も、卒園後も児童相談所職員や施設の担当職員が助言をしてくれたり、耳を傾けてくれたりしてくださいました。こうした過程のなかで、周りを上手に頼りながら自分に余裕を持ち行動する力を身に付けることが出来ました。刺激的で充実した大学生活も、絶対にこの居場所だけは離さない、とモチベーションアップにつながりました。

次に、私が大学の卒業論文で研究した、「児童養護施設退所者が安定層、不安定層に分かれる要因・現状について」です。私は、この研究をするにあたり大学進学をしたAさん、Bさん、施設卒園後就職をしたCさんにインタビュー調査をしました。その中で見えてきた共通点は、居場所や、信頼できる人との出会いがあったことです。Aさんは、家庭環境が未改善のまま施設退所を余儀なくされましたが、施設入所当時の支援者といつでも連絡がとることのできる状態で、いつでも相談できる大人の存在がいるため、安心して生活出来ているといえます。Bさんは、信頼できる人はまだ少ない、とのことでしたが興味のあることについて学ぶことのできる教育環境と、好きなことに熱中できるサークルの存在があることでなんとか大学生活を送れているといえます。Cさんは、施設退所後税金の未払いに一番悩んだとのことでしたが、職場の友人の親御さんが親身に相談に乗ってくれたことで解決することができたと言います。この3人と私の生き立ちを整理してみると、居場所や信頼できる人の存在は私にも共通している点です。私は、大学を卒業後、福祉の世界で当事者から支援者になります。大学での学び、大学生活やみらいでの活動で得た人とのつながりを大事にして、今後の支援に還元していきたいと考えています。

最後に、施設で生活している、若しくはこれから施設を退所する皆さんに、メッセージを書かせていただきます。施設で暮らすことになった私たちは、どうしても一般家庭の子どもたちと比べて頼るべきところが少ないです。一人で抱え込みやすいかもしれませんが、自分からどんどん人とつながって、居場所を作ってほしい、と思っています。自分を守ることは周りを守ることとイコールしていると考えています。自分が幸せになることもまた然り、だと思えます。沢山のひとと縁して良い循環を作っていくことを願っています。みんなで幸せになりましょう！(笑)





## 「自立支援について私が感じることや考えること」

まず初めに、私の大学進学の際の経験についてお話しさせて頂き、最後に自立支援について私の意見を示します。

私は高校2年生の春まで、当時4人兄弟と両親2人の6人家族で三重県に暮らしておりましたが、高校2年生になった時から徐々に周囲の環境が変わっていきました。それまで貧しいながらも何とか生活しておりましたが、ついに生活を続けることが困難になってしまったのです。私は三重県の児童養護施設に入園することになりました。私が入園した施設の子どもたちは良い人が多く、自分の進路について施設の職員の方々と口論になるまでは、本当に楽しく過ごすことが出来ました。

施設での生活も慣れ、高校3年生になりました。進路を考えなければならない時期です。私は3年生になる時には進学したい、と考えておりました。これは担任の先生の影響が大きいと思います。先生は高校1年生の時からずっと勉強と大学の面白さを私に話してくださいました。私は施設でも進学にしたいと話しましたが、施設の担当の職員は就職しろ、と言ってきました。進学はお金が必要であり、進学した後も生活費などのお金が必要だと言ってきました。アルバイトでためたお金と奨学金を借りるから大丈夫だと説得しても聞く耳を持ってくれませんでした。絶対に進学は許さないと言われました。私は本当に困ってしまいましたが、担任の先生は最後まで私の希望を聞いて下さり、施設の職員を説得することを手伝ってくれました。最後は全く面識もなかった蛸沢さんと長谷川先生にまで協力して頂き、やっと説得し、進学することが出来ました。

このような経験を経て、私は児童養護施設の自立支援について、本質が見えていないのではないかと感じました。あくまで私の経験から感じたことなので、他の施設では全く違った形で自立支援がされているのかもしれませんが、しかし、私は施設の職員が「自立支援」という言葉を間違えて解釈しているように思いました。そもそもこの「自立」という言葉の意味からですが、施設の先生は単に「一人で生活していけること」、と勘違いしていたのではないかと感じております。子どもたちが卒園後自分たち一人一人で生活していくのは当然であり、前提です。最も大切なのは生活の中身です。私の担当の職員の方は単に卒園後に生活をしていくためだけに私の進路について言及してきたように感じました。子どもたちの中には卒園後の夢や希望などを強く持っている人がいます。そうした子どもたちの希望に最後まで付き合っただけが私が思う「自立」支援だと思っています。

最後に後輩の方々へ。自分の目標や夢は曲げないことが最も大切です。しかし、夢のためには、何をしても、たとえ一人でも進み続ける、ということではありません。極力、周りの方々の理解を得られるよう努力してください。近くの方が話を聞いてくれなくとも、自分の話を真剣に聞いてくれる大人はきっといます。誰に話しても聞いてくれない、という目標や夢であるならば、自分の中でもう一度よく考えてみる必要もあります。理由や実現までの道のりについてしっかり考え、伝えるべきです。「自立」を目指すのであればこそ、周囲の方々の協力を得ることが大切であることを忘れずにいて下さい。

児童養護施設生活経験者 久保 勇希





## 「児童養護施設の自立支援に思うこと」

児童養護施設にいる間に、自分の生活を維持するという自立だけではなく精神的な自律ができるような毎日の暮らしの質を保つことが必要だと感じています。

そのためには、職員と子ども、子ども同士、職員同士のコミュニケーションを深めていく事がとても重要だと感じています。当たり前の暮らしを保障することはもちろんですが、毎日の暮らしの中で、自分の話を聞いてもらったという体験を積む事が自分以外の人や環境を信用する力を育てると感じています。物事の善悪ではなく、その子がそう感じたという事実をそのまま受け止めてもらうことによって、相手と自分への信頼と意欲に繋がっていったように思います。

自分の思いを伝えるには、まずは自分が何を感じているのかを自覚する必要がありますが、子どもたちに聞いてみると、よく「わからない」という返事が返ってきます。それぞれが経験してきた中で自分の気持ちを感じないようにするという術を使い生きてきた子どもたちもいます。まずは子どもたちに関わる職員が、子どもたち自身が自分の感覚に気づくことができるような関わりや投げかけをすることも大切だと感じます。そのような小さな関わりを積み重ねることによって、自分自身を大切にする意味や方法の理解につながっていくと感じています。

パワフルな子どもたちと毎日の生活を過ごすということは、とても楽しい反面、子どもたちを大切に想う気持ちが大きいあまり疲れてしまうこともあります。子どもたちの健全な自立、最善の利益につなげるためにも、職員さんたちが生き活きと働けるような環境を整えることも必要だと感じます。労働条件もちろんそうですが、職員集団の在り方を子どもたちのためにも一人ひとりの職員さんたちが振り返りより良くしていくことを意識していけるといいのではないかと感じます。子どもたちを支援する職員集団の信頼関係が強く、何でも言いあえる集団であれば協力し合い、子どもたちの支援と職員さん自身の精神的なケアもしやすいのではと感じます。退所していった子どもたちが、自分の育った施設に帰るときに、自分が育った過程を見守ってきてくれた人たちがいて安心して帰ってこられるためにも、働きやすい環境が広がり平均勤続年数が上がると良いなと感じます。また、頼ることができる絶対的な存在がないという場合の子どもたちには特に、自分で自分のことを認め、信頼することが自分を自分で幸せにして生きていく大きなエネルギーになっていくと思います。職員さんへ感謝するとともに、生きていくための力をつけ、自律してその子らしく社会へ出ていけるような場所であることを願います。

元児童養護施設職員 久野 恵

# 目次

※【 】内は実施事業対名  
※「★」は、就労のための支援を含む

## 1. 進学(就学)・就労支援

### (1) 給付型

#### 〔対象:全国〕

1. アトム基金進級応援助成【全国児童養護施設協議会】…………… 1
2. JX-ENEOS 児童養護施設・母子生活支援施設・里親家庭・奨学助成制度【全国社会福祉協議会】… 1
3. 鯉淵記念母子福祉助成事業【全国社会福祉協議会】…………… 2
4. 読売光と愛・郡司ひさゑ奨学基金【読売光と愛の事業団】…………… 2
5. 資生堂児童福祉奨学金【資生堂社会福祉事業財団】…………… 3
6. 雨宮児童福祉財団「修学助成金」【雨宮児童福祉財団】…………… 3
7. 施設や里親家庭で暮らしている若者への入学支援金【日本子ども虐待防止学会】…………… 4
8. 児童養護施設等出身理工系学生助成【畠山文化財団】…………… 4
9. ISSHO 学生生活応援基金アイビーファンド(アイビィ基金)【ISSHO】…………… 5
10. One by One こども基金奨学金【日本アムウェイ】…………… 5
11. 朝日奨学制度【朝日奨学会】…………… 6
12. あすのば入学・新生活応援給付金★【あすのば】…………… 7
13. エキスパート福祉支援協会【エキスパート児童福祉支援協会】…………… 7
14. 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金【朝日新聞厚生文化事業団】…………… 8
15. 児童養護施設等サポート事業★【児童育成協会】…………… 8
16. 自立奨学支援資金★【楽天未来のつばさ】…………… 9
17. タイガーマスク基金【タイガーマスク基金】…………… 9
18. 日本財団夢の奨学金★【日本財団】…………… 10
19. 明光教育研究所給付奨学金【明光教育研究所】…………… 10
20. メイスン財団奨学制度【日本メイスン財団】…………… 11
21. 読売育英奨学生制度【読売育英奨学会】…………… 11
22. 公益財団法人創通育英財団平成28年度奨学金【創通育英財団】…………… 12
23. 東京海上日動あんしん生命奨学金制度【東京海上日動あんしん生命保険】…………… 12

#### 〔対象:複数都道府県〕

24. 産経新聞明日への旅立ち基金【産経新聞社ほか】…………… 13
25. カナエール【ブリッジフォースマイル】…………… 13
26. カナエール(福岡)【ブリッジフォースマイル カナエール実行委員会】…………… 13
27. 公益財団法人是川奨学財団 奨学金【是川奨学財団】…………… 14
28. 愛の奨学金【京都新聞社会福祉事業団】…………… 14

#### 〔対象:都道府県〕

29. 児童養護施設児童の大学進学に関する石川県教職員組合支援基金【石川県児童養護協議会】…………… 15
30. こどもみらい応援キャンペーン【九州ろうきん長崎支部】…………… 15
31. 北國銀行子ども自立支援基金★【石川県社会福祉協議会】…………… 16

32.	にじのはしファンド★【にじのはしファンド】	16
33.	足長おじさん奨学金制度の会【富士通労働組合小山支部】	17
34.	大阪府育英会特別奨励金【大阪府育英会】	17
35.	大友福祉振興財団奨学金【大友福祉振興財団】	18
36.	株式会社ハーベス 育英奨学金【ハーベス】	18
37.	公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部【日本教育公務員共済会北海道支部】	19
38.	公益財団法人余慶会 奨学金【余慶会】	19
39.	公益信託鮎久晴富山社会福祉支援基金福祉奨学金【公益信託鮎久晴富山社会福祉支援基金福祉奨学金】	20
40.	ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プログラム進学支援プロジェクト【東京ボランティア・市民活動センター】	20
41.	児童養護施設等退所者進学助成事業【未来へ】	21
42.	児童養護施設等入所児童就職・進学等支度支援金助成★【鳥根県共同募金会】	21
43.	社会的養護児童進学自立支援金【北海道新聞社会福祉振興基金】	22
44.	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 大学進学支援基金【鳥取県社会福祉協議会】	22
45.	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 聖マリア児童福祉基金事業【福島県社会福祉協議会】	23
46.	奨学金支給 児童養護施設枠【松園尚巳記念財団】	23
47.	奨学金支給事業【神戸やまぶき財団】	24
48.	奨学金事業【しまなみ奨学財団】	24
49.	女子高校生への奨学金制度【国際ソロプチミスト大分】	25
50.	生活自立支援金支給事業★【稲盛福祉財団】	25
51.	タミヤ奨学会【タミヤ奨学会】	26
52.	小さな愛の会記念里親委託児童等就学援助事業【福島県総合社会福祉基金】	26
53.	永田基金【兵庫県児童養護連絡協議会】	27
54.	長野県飛び立て若者奨学金【長野県】	27
55.	入社条件付 土木関係進学助成【中部土木棟】	28
56.	フェニックス育英生制度【フェニックス神戸ソソクラブ】	28
57.	福島県社会福祉協議会 支援機構あすなろ教育支援基金【福島県社会福祉協議会】	29
58.	夢みらい進学支援金【大分県児童養護施設協議会】	29
59.	公益信託山野登一奨学基金【みずほ信託銀行 大阪府育英会】	30

**〔対象:市町村・その他〕**

60.	SIソロプチミスト姫路西【国際ソロプチミスト姫路西】	30
61.	公益信託森安育英基金(大学の予約奨学金)【公益信託森安育英基金】	31
62.	公益信託森安広島育英基金	31
63.	児童養護施設等入所児童への大学進学等 奨励給付事業【札幌市こども未来局児童相談所】	32
64.	要保護児童自立支援対策事業★【中津市】	32
65.	公益財団法人栗林育英学術財団奨学金【栗林育英学術財団】	33
66.	児童養護施設等入所児童就職・進学等 支度支援金助成★【鳥根県共同募金会】	33

**(2)貸与型**

**〔対象:全国〕**

67.	日本学生支援機構 第一種(利息がないタイプ)【日本学生支援機構】	34
-----	----------------------------------	----

68. 日本学生支援機構 第二種(利息が付くタイプ)【日本学生支援機構】	34
〔対象:都道府県〕	
69. 読売育英奨学金【読売育英奨学金】	35
70. 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部【日本教育公務員共済会北海道支部】	35
71. 児童養護施設退所者等自立支援資金★【岐阜県社会福祉協議会】	36
72. 長崎県児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業★【長崎県社会福祉協議会】	36

## 2. 就労(資格取得等)支援

### (1) 給付型

#### 〔対象:全国〕

73. 社会人一年生スタート応援助成【全国社会福祉協議会】	37
74. 資格 GET 応援プログラム【ブリッジフォースマイル】	37

#### 〔対象:複数都道府県〕

75. コンパスナビ運転免許取得助成制度【青少年自助自立支援機構】	38
-----------------------------------	----

#### 〔対象:都道府県〕

76. 亀の井自動車学校【亀の井自動車学校】	38
77. 自動車運転免許取得助成【稲盛福祉財団】	39
78. 自動車運転免許取得助成【平和堂財団】	39
79. 児童養護施設等就労支援助成【新潟県共同募金会】	40
80. 児童養護施設入所児童等の普通自動車免許取得支援【群馬県共同募金会】	40
81. 有限会社サンドラ【サンドラ】	41

### (2) 貸与型

#### 〔対象:都道府県〕

82. 介護福祉士修学資金等貸付事業【福島県社会福祉協議会】	41
83. 保育士就学資金貸付【福島県社会福祉協議会】	42

## 3. その他

### (1) 給付型

#### 〔対象:全国〕

84. 学生サポーター制度【国立青少年教育振興機構】	42
----------------------------	----

#### 〔対象:複数都道府県〕

85. 卒業お祝い金【京都新聞社会福祉事業団】	43
-------------------------	----

#### 〔対象:都道府県〕

86. 滋賀県児童福祉入所施設協議会自立支援基金事業【滋賀県児童福祉入所施設協議会】	43
87. 愛の募金 配分【上毛新聞厚生福祉事業団】	44



88. 公益財団法人SHG財団助成【SHG財団】	44
89. 児童自立支援基金「希望」【長野県児童福祉施設連盟】	45
90. 児童養護施設卒園者支援事業 イコールフードプロジェクト【オフィスサービス】	45
91. 入学金助成事業【稲盛福祉財団】	46
92. 児童養護施設等措置児童の運転免許取得費用 一部免除【沖縄県指定自動車学校協会ほか】	46
93. 児童養護施設等で生活する児童の普通自動車運転免許費用の一部免除【宮崎県ほか】	47

〔対象:市町村〕

94. 大阪市奨学費【大阪市教育委員会】	47
----------------------	----

(2)貸与型

〔対象:都道府県〕

95. 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金 貸付制度【岡山県社会福祉協議会】	48
---	----

4. 大学が実施している奨学金等制度

96. 経済援助学費減免奨学生 A(及び児童養護施設卒)【日本福祉大学】	48
97. コミュニティ福祉学部田中孝奨学金【立教大学】	49
98. チャレンジ支援奨学金制度【日本社会事業大学】	49
99. 沖縄大学後援会支援特別奨学金【沖縄大学】	50
100. 紺碧の空奨学金【早稲田大学】	50
101. 至誠館大学学生奨学制度【至誠館大学】	51
102. 特待生・奨学金制度【静岡福祉大学】	51
103. 「児童養護施設・里親家庭等奨学生【奈良佐保短期大学】	52
104. 新島学園短期大学	52
105. 常葉大学短期大学部	53
106. 学校法人三重中央学園 ミエ・ヘア・アーティストアカデミー	53

5. 国の制度等(一部再掲)

107. 生活福祉資金	54
108. 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付制度	55
※109～112は、H29.1 時点における国の制度案	
109. 日本学生支援機構奨学金(給付型奨学金) 平成29年度進学者	57
110. 日本学生支援機構奨学金(第1種奨学金) 平成29年度進学者	63
111. 日本学生支援機構奨学金(新所得連動返還型奨学金) 平成29年度進学者	64
112. 日本学生支援機構奨学金(給付型奨学金) 平成30年度以降進学者	65

## 「日本財団 夢の奨学金」について（HPより抜粋）

日本財団は2016年4月、奨学金制度をスタートさせました。その名も「日本財団 夢の奨学金」。対象は事情があって家族と暮らせなかった、いわゆる社会的養護出身の若者です。

何らかの事情により親元で暮らすことができない子ども、社会的養護の子は原則として18歳を迎えると、児童養護施設や里親家庭など、それまで暮らしていた場所から出て行くことが求められます。こうした若者は全国で毎年1600人ほどおり、その多くが住居費や生活費を捻出するための就労を余儀なくされているのが現状で、経済的な理由に加え体力的・精神的な疲労から、進学をあきらめたり、進学しても長く続かなくなったりするケースが圧倒的に多い。

例えば、厚生労働省の調査によると、大学や専門学校への進学率は一般の若者が77%なのに対し、施設出身者は23%。

全国児童養護施設協議会の調査では、施設出身者の大学中退率は約25%となっています。

また、就職をしても低賃金や不安定な就労形態のもとで働くことが多く、いざという時に頼れる親や故郷もない中で、厳しい生活を強いられている人が多数存在します。

このように、社会的養護出身者については、『親なし』だけでなく『家なし』『学歴なし』という3重のハンデを負いやすい」という声が聞かれていました。

そこで、この厳しい現実の問題意識を持った日本財団の職員有志が奨学金の構想を練り上げました。

大切にしたのは、ハンデを克服するために真に必要なことは何か、ということ。

「こんな奨学金があったらいいな」という要素を現場の専門家から聞き取り、一つ一つ加えていった。やや月並みな名前も、そうした背景から実を伴うものとして付けました。

特徴の一つは、学費全額に加えて生活費や住居費もカバーすること。

勉学やサークル活動といった学生としての経験をバイトのためにあきらめず、できるだけ多く積んでもらうようにするためです。

また、全ての奨学生に夢の奨学金ソーシャルワーカーが寄り添い、精神的ケアも含めて就職までサポートするのも特筆すべきポイント。

これも、社会的養護出身の若者は精神的に追い詰められる傾向にある、という現場の声から盛り込みました。

「日本財団 夢の奨学金」は2016年度、愛知、岐阜、三重の3県の居住者のみを対象にパイロット事業として実施し、17年度から全国へ拡大します。

パイロット事業には、進学をあきらめ就職していた若者も含め46人の応募があり、書類選考と面接を経て、11人の奨学生が決定しています。

未来を諦めない、その強い意志に応えるために。

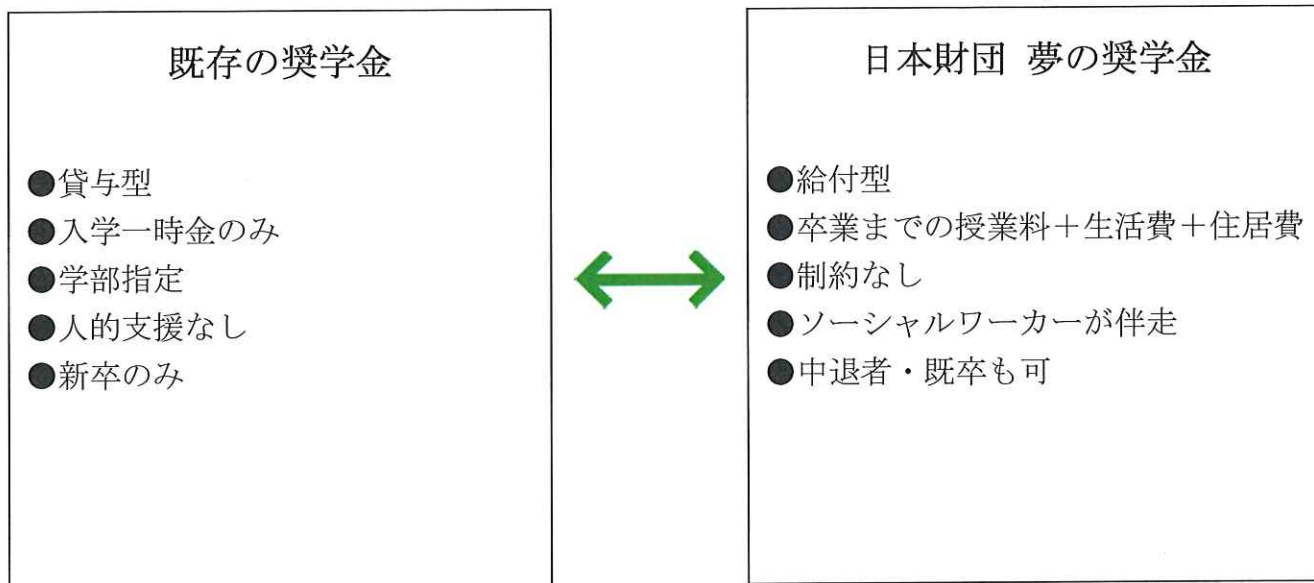
日本財団は経済面・精神面の両面で自立を応援します。

## 事業目的

- 社会的養護の下で育った人の自立支援
- 自己実現につながる大学・専門学校への進学、もしくは職人になることを応援し、社会で活躍するロールモデルをつくる

## 事業目標

- 社会で活躍するロールモデルを5年で100人、10年で200人輩出する



## 選考基準

- 明確かつ現実的な 人生プランが示せる
- 後輩が憧れ、目指せる ロールモデル性を備える
- 決めたことは行動に移す 実行力がある
- 視野が広く、人間性が豊か
- 人生プラン実現への強い 情熱を持っている



## よくあるご質問

Q.対象となる社会的養護出身者について教えてください。里親家庭出身でも対象になりますか？

A.対象になるのは、児童養護施設、里親家庭、自立援助ホーム、乳児院、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設などの社会的養護出身者です。里親家庭出身でも対象になります。

Q.現在自立援助ホームにいますが、児童養護施設出身者が優先なのですか？

A.いいえ、児童養護施設出身者が優先されることはありません。書類選考と面接を通して、要件に合う方が採択されます。

Q.社会的養護出身ではありませんが、生活保護を受けています。申し込むことは可能ですか？

A.申し訳ございません。社会的養護出身でない場合、「夢の奨学金」にお申し込みいただけません。

Q.社会人ですが、機会があれば学校に通いたいと考えています。応募することはできますか？

A.はい、ご応募いただけます。新卒、既卒を問わずご応募いただけます。

Q.現在大学2年生です。応募することは可能ですか？

A.はい、可能です。新入生でなくとも応募が可能です。

Q.現在高校3年生です。もし、奨学金に申し込み合格をし、大学受験に失敗した場合はどうなりますか？

A.採択奨学生となった方は、入学後在学証明書を提出いただく必要があります。もし進学先に入学することができな場合は、奨学金は取り消しになります。

Q.職人見習い期間に住宅補助、生活費補助があると聞きました。住み込みの場合はどうなりますか？

A.住宅補助が必要でない場合は、生活費補助（月額5万円）を受けることができます。

Q.現在中学3年生です。中学を卒業後、職人をめざしたいと考えています。応募の対象になりますか？

A.はい、対象になります。

Q.ソーシャルワーカーの伴走って何ですか？

A.夢の奨学金ソーシャルワーカーが、月に1度奨学生を訪問します。また、それ以外の時間にも、悩み、問題等があればどのようなことでもソーシャルワーカーに相談することができます。

Q.申請書をダウンロードすることができません。どうすれば良いでしょうか？

A.当財団までご連絡いただけましたら、郵送で申請書類をお送りいたします。

Q.成績が良くないといけませんか？

A.応募資格の要件にあるように、しっかりした将来の目標を持ち、向学心に燃え、行動力のある方であれば、成績は問いません。

Q.海外に留学したいと考えていますが、対象になりますか？

A.あなたの成し遂げたい将来の目標に留学が必要であれば、支援の対象になります。

Q.他の奨学金と併用することは可能ですか？

A.はい、可能です。

Q.「ロールモデル性を備える」と応募要件にあります。具体的にはどういうことですか？

A.例えば、現在施設にいる後輩の小学生、中学生が、「こんな人になりたい」「この人のように大学に進学したい」と思ってもらえるような、目標となる人を意味します。

Q.申請書に「人生プラン」を書く欄があります。どのように書けばよいですか？

A.どのように書いてくださっても問題ありません。あなたの成し遂げたいゴールがわかるように、またその思いが伝わるように、自由に記載ください。

Q.「社会的養護出身者」とありますが、現在措置中/措置延長中です。奨学金の対象になりますか？

A.対象になります。なお、現在措置中の方の授業料、住宅補助、生活費補助の支給金額については、措置内容を踏まえた上、決定させていただきます。



MCF  
Mobile Communication Fund



DOCOMO SCHOLARSHIP 2018

# 2018年度 ドコモ奨学金

月額  
8万円

返済  
不要

併給可  
※詳しくは裏面へ

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)では、  
NTTドコモのご支援により、2018年度(平成30年度)から  
大学(4年制)・短期大学・専門学校に入学を予定している社会的養護出身者を対象とした  
**返済不要の奨学金事業**を立ち上げ、募集を行います。

## 支給期間

大学(4年制)・短期大学・専門学校入学から、  
正規の最短修業年限まで

## 採用人数と応募受付期間

採用人数: 10名程度  
受付期間: 2017年9月20日(水)~10月31日(火)

申請書送付  
お問い合わせ先



MCF  
Mobile Communication Fund

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)事務局  
〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー41F  
TEL:03-3509-7651(平日10時~18時) FAX:03-3509-7655

※申請書にご記入いただいた個人情報(申請者・推薦者氏名、住所、連絡先電話番号、電子メールアドレス等)につきましては、  
当団体のホームページに記載する個人情報保護方針に基づき、厳正に管理します。



# 2018年度 ドコモ奨学金(社会的養護出身者) 募集要項

児童養護施設または里親宅等で暮らしている子ども達が、将来の夢や希望に向かってチャレンジできる社会をめざし、大学等で安心して学べるよう経済的・精神的両面から支援することにより、施設等出身者の夢の実現の一助とすることを目的として、2018年度から実施する事業です。また、本事業では施設等を退所後、経済的な理由から就職等をし、改めて学び直しを希望する者も対象とします。

## 募集対象者

現在、または過去に児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、母子生活支援施設、里親家庭で生活し、2018年4月に大学(4年制)、短期大学、専門学校(※)への入学を希望する高校生・高等学校卒業程度認定試験合格者とします。

具体的には、2018年3月に高等学校卒業見込みの高校生及び既に高等学校を卒業している方、高等学校卒業程度認定試験を合格している方(見込みの方を含む)とします。

※高等専門学校、通信教育課程、放送大学等は対象外

## 給付内容

修学に関する費用として、月額8万円(年額96万円)を支給します。当奨学金は返済不要です。

月額…

8万円

年額合計…

96万円

## 支給期間と採用人数

支給期間：大学(4年制)・短期大学・専門学校入学から、正規の最短修業年限までとします。

採用人数：10名程度

## 併給の扱い

年間50万円以上の返済不要の奨学金を他団体などから支給を受ける者は対象外としますが、その他の入学金や少額の支援は併給可能です。

また、日本学生支援機構(JASSO)についても、給付型・貸付型奨学金を問わず併給可能です。

## 奨学生の義務

奨学金授与式、交流会に参加すること、成績証明書(半期毎)と近況報告書(四半期毎)を提出すること。

また、当団体のホームページ等に掲載する記事への寄稿依頼に対して協力すること。

## 申請方法

申請書等を当団体ホームページからダウンロードし、各書類に必要事項を記入のうえ、MCF事務局に送付してください。

また、送付にあたっては、応募書類一式を取りまとめのうえ、簡易書留・レターバックプラスなどの送達記録が確認できる方法で発送してください。

## 選考方法及びスケジュール

1次審査(書類審査)及び2次審査(面接審査)を実施後、選考委員会において決定します。なお、選考内容は非公表とし、個別の問い合わせには応じません。

●スケジュール：応募受付期間は2017年9月20日(水)～10月31日(火)です。

9月20日	10月31日	11月上～11月中旬	11月下～12月中旬	12月下旬	1月上旬	入学を証明する書類の受理をもって最終決定
募集開始	締め切り	1次審査(書類審査)	2次審査(面接審査)	選考委員会	本人通知	



まずはホームページをご覧ください

実施内容・応募に関する詳細をご覧ください

<http://www.mcfund.or.jp>

申請書送付  
お問い合わせ先

**MCF**  
Mobile Communication Fund

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)事務局

〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー 41F

TEL:03-3509-7651(平日10時～18時) FAX:03-3509-7655

※申請書にご記入いただいた個人情報(申請者・推薦者氏名、住所、連絡先電話番号、電子メールアドレス等)につきましては、当団体のホームページに記載する個人情報保護方針に基づき、厳正に管理します。

## 民間の奨学金（2017年4月15日作成時点情報）

### 公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）

指定の高等専門学校、大学、大学院の学生に、教育支援を行っています（JEES奨学金）。さらに、企業等からの寄付により実施されている「冠奨学金」などがあります。

### 公益財団法人電通育英会

指定の公立高校から、指定の大学・大学院に進学した大学生と大学院生に給付型奨学金による経済的支援とキャリア形成支援を行っています（大学生は月6万円、大学院生は月8万円）。

### 公益財団法人青井奨学会

指定の国公立高校から、指定の大学・大学院に進学した大学生と大学院生に給付型奨学金を支給しています（月5万円）。

### 一般財団法人ジェイティ奨学財団（JT国内大学奨学金）

指定の国公立大学への進学を目指す高校生を採用し、奨学金を給付しています。高校推薦枠と、大学推薦枠の双方が用意されています。

### 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

大学に進学予定の高校生を奨学生として採用し、大学在学期間中、奨学金を給付してくれます（月1万5千円）。

### 一般財団法人トヨタ女性技術者育成基金

大学の理系学部の1年の女子学生に対して、在学期間中の就学等に必要な資金を指定の金融機関から借り入れした場合に、基金が利息の給付をしてくれます。

なお、一定の条件を満たした場合には、元金の全額または一部を給付する「返済免除制度」があります。

### 公益財団法人帝人奨学会

医学・薬学系、バイオ学系、理工学系、工学系、情報学系の大学院生向けに、条件を満たした場合に返済が免除になる奨学金を貸与しています（月8万円～10万円）。

なお、外国人留学生の場合は、給付型となります（月5万円～6万円）。

### 公益財団法人三菱UFJ信託奨学財団

財団の指定する大学の学部、研究科に在籍している大学・大学院生に、奨学金給付を行っています（月3万5千円～10万円）。

### 公益財団法人東電記念財団

日本国内の大学院の修士課程に在学し博士課程に進学を希望する学生や、博士課程1年もしくは2年に在学する学生に、奨学金を給付しています（月5万円）。



#### [公益財団法人日鉄鉱業奨学会](#)

奨学会の指定する高等専門学校・大学・大学院の生徒で、特定の分野の学習をする生徒に奨学金を給付しています（月2万5千円）。

#### [一般社団法人国際開発機構 FASID 奨学金プログラム](#)

国際開発関連分野の大学院で学ぶ日本人に必要な経費を支援しています（年額上限200万円）。

#### [公益財団法人アイザワ記念育英財団](#)

指定大学の大学生・大学院生向けに、奨学援助を行っています（月3万～4万5千円）。

#### [公益財団法人明光教育研究所](#)

明光教育研究所が実施する「給付型」の奨学金です。特別な事情のある小学生～大学生に支給しています（ひと家族に最大50万円）。

#### [公益財団法人石橋奨学会](#)

新たに四年制以上の大学に入学を予定する者から奨学生を採用し、奨学援助を行っています（月4万4千円～5万円）。

#### [公益財団法人伊藤謝恩育英財団](#)

特定の4年制大学への進学を希望する高校生向けに、奨学援助を行っています（月6万円）。

#### [公益財団法人石澤奨学会](#)

定時制通信制高校生と、定時制通信制高校在籍時に奨学生で4年生大学または短期大学に合格した学生とに、奨学援助を行っています（月1万5千円～2万円）。

#### [公益財団法人四宮育英奨学会](#)

全国の高等学校や大学に在学する生徒に対して奨学金を給付しています（月1万2千円～2万円）。

#### [公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団](#)

ホスピタリティ産業に興味がある、大学に在学する生徒に対して奨学金を給付しています（月2万円）。

#### [公益財団法人岩國育英財団](#)

特定の大学の学生に、奨学金給付をしています（1年度につき25万円）。

#### [公益財団法人シマノ財団](#)

財団の指定する大学の2年生と3年生または高専4年生のうち、理学部・工学部および基礎工学部の学生に、奨学金給付をしています（年25万円）。



#### [公益財団法人加藤山崎教育基金](#)

日本国内の小学5年生、中学2年生、高校2年生に、採用した年度内に1回限り、奨学金を給付しています（2万円～5万円）。

#### [公益財団法人日揮・実吉奨学会](#)

指定大学の理工系の大学生・大学院生・留学生への奨学金給付を行っています（年30万円）。

#### [公益財団法人樫山奨学財団](#)

指定大学の4月入学新生に奨学金を支給しています（月4万円）。また、指定大学院の外国人留学生にも給付します（月12万円）。

#### [公益財団法人佐藤奨学会](#)

指定の高等学校、高等専門学校、大学または大学院の学生に、奨学給付を行っています（月11,500円～30,500円）。

#### [公益財団法人新日本奨学会](#)

指定の大学・大学院に在学する、大学生3年生もしくは4年生、および修士課程の大学院生に、奨学金給付を行っています（月4万7千円～5万5千円）。

#### [公益財団法人竹中育英会](#)

指定校の大学生・大学院生に、奨学金給付を行っています。

#### [一般財団法人ダイオーズ記念財団](#)

日本国内の大学、大学院、短大、高専および高校の学生に、奨学金を給付しています（月1万円）。

#### [一般財団法人 大森昌三記念財団](#)

大学、大学院修士課程または博士課程に在籍する学生に、奨学金を給付しています（月3万円）。

#### [公益財団法人川村育英会](#)

財団指定の高等専門学校、大学、大学院の学生に、奨学金を給付しています（月2万円～6万円）。

#### [一般社団法人大学女性協会（JAUW）](#)

大学院生、身体に障害を持つ学部生および大学生・大学院生、ならびに、医学、歯学、薬学を専攻する大学院生への奨学金を贈呈しています。

#### [一般財団法人 高久国際奨学財団](#)

日本国内の大学院の日本人学生に対して奨学支援を行っています（月10万円）。

#### [一般財団法人 鷹野学術振興財団](#)

科学技術関係の学部学ぶ大学生と大学院生に給付しています（月5万円）。

#### [財団法人 中董奨学会](#)

大学学部3年生と大学院1年生に、奨学金給付を行っています（月3万円）。

#### [公益財団法人日本証券奨学財団](#)

特定の大学の大学生・大学院生向けに、奨学金を給与しています（月3万5千円～月5万5千円）。

#### [公益財団法人日本教育公務員弘済会](#)

経済的な理由で学費支弁が困難な高校生を対象にした奨学金給付事業などを実施しています。

#### [公益財団法人森下仁丹奨学会](#)

大学生または大学院生に、奨学金給付を行っています（月3万円）。

#### [公益財団法人吉田育英会](#)

大学院において自然科学系分野を専攻する学生に対し、奨学金を支給しています（月8万円および海外研究活動費）。

#### [財団法人本庄国際奨学金](#)

主として博士号取得を最終目的とする日本人大学院生に、奨学金を支給しています（月15万円～20万円）。

#### [公益財団法人戸田育英財団](#)

大学の学部生（1年生および2年生）に対し、奨学金を給付しています（月3万円）。

#### [公益財団法人戸部眞紀財団](#)

化学、食品科学、芸術学、体育学／スポーツ科学、経営学の専攻の学部（3年生・4年生）、修士課程、博士課程の学生に奨学金を給付しています（月5万円）。

#### [公益財団法人中部奨学会](#)

大学院生（博士後期課程）を対象に、奨学生を給付しています（月3万5千円～5万円）。

#### [一般財団法人野崎わかば会](#)

国内の大学生などを対象に、奨学生を募集しています（月3万円）。

#### [公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団](#)

応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部の大学生および大学院生を対象に、奨学生を募集しています（月5万円～6万円）。

#### [まなべる基金](#)

東日本大震災で被災した高校生のために、奨学金を支給しています。

### [特定非営利活動法人JBC・CSR基金](#)

経済的な問題などで勉学の機会に恵まれない青少年（高校入学予定者）に奨学金を給付しています。

### [一般財団法人林レオロジー記念財団](#)

食品産業に関する学部 of 学生や大学院生、さらに、菓子とパンに関する専門学校生に、奨学金を給付しています。

### [小倉一春記念国際看護奨学基金](#)

日本国内の大学院で国際看護を学ぶ学生に、奨学金給付をしています（月6万円）。

### [公益財団法人木下記念事業団](#)

大学生および大学院生に奨学金給付をしています（年60～84万円）。奨学生は、指定大学および指定高校等を通じて募集しています。

### [一般社団法人中西奨学会](#)

指定校・指定学部制度を採用し、高校生から大学院生に、奨学金を給付しています（月1万～4万5千円）。

### [公益財団法人北野生涯教育振興会](#)

生涯学習する学生や科目等履修生、放送大学の学生、学費に窮する外国人に、奨学金を給付しています。

### [公益財団法人北澤育英会](#)

指定する大学から推薦された奨学生に給付しています（月5万円）。

### [公益財団法人小原白梅育英基金](#)

所定の大学の大学生と大学院生に、奨学金給付を行っています（月5万円）。

### [公益財団法人小田急財団（安藤記念奨学金）](#)

財団指定の学校の高校生と大学生と、さらに指定の大学院の在日外国人留学生を支援しています（高校生は月1万2千円、大学生は月2万円、大学院留学生は月3万円）。

### [公益財団法人旭硝子奨学会](#)

財団指定の大学の日本人学生および外国人留学生のうち、大学院生を対象に支給しています。

### [独立行政法人 国立高専機構](#)

国立高等専門学校 of 学生を対象にした奨学金です。

### [公益財団法人全国商業高等学校協会](#)

商業高校 of 学生を対象に、奨学金を支給します（年5万円）。



#### 一般社団法人生命保険協会（介護福祉士養成奨学金制度）

指定の介護福祉士養成施設の専門学校・短期大学に在学する学生を対象に、奨学金を支給します（月2万円）。

#### 公益財団法人同盟育成会（古野奨学金）

ジャーナリズム、マスコミ関係の研究に従事する大学院生への給付（月5万円）と、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる大学生への給付（月3万円）とがあります。

#### 一般社団法人日本電気協会（原子力工学大学院博士課程奨学生）

一般社団法人日本電気協会が、原子力工学の研究に取り組む博士課程(後期)学生を対象に奨学金を助成しています（月8万円）。

#### 日本カトリック大学連盟

カトリック教会所属の信者を対象に、大学院生と大学院留学生へ給付しています（月10万円）。

#### 全労済

大学院の博士後期課程を対象とした給付奨学制度を実施しています。

#### ベターホーム国内奨学金

日本国内の経済的に困窮している大学生に給付しています（月5万円）。

#### 一般財団法人 牛久保・天田育英財団

大学院、大学、短期大学、高等専門学校の学生に給付しています（年30万円）。

#### 公益財団法人大林財団

指定大学の学生で、将来に都市に関連する分野に携わろうとする者に奨学金を給付します（月5万円）。

#### 公益財団法人山田育英会

大学生や大学院生に奨学金を給付しています（月1万5千円～2万5千円）。

#### 公益財団法人国土育英会

大学生に奨学金を給付しています（月1万8千円）。

#### 公益財団法人尚志社

特定の大学の学部または大学院の学生を対象にした奨学金です（月3万～6万円）。

#### 公益財団法人三谷育英会

石川県、福井県あるいは富山県出身の、高校生、大学生、大学院生を対象にした奨学金です。



### [三井住友信託銀行](#)

三井住友信託銀行が受託している公益信託で、給付型のものがあります。

### [楠田育英会](#)

指定大学の2年生以上の学生に無償で奨学金を支給します（月3万円）。

### [公益財団法人天野工業技術研究所](#)

理工系大学院博士課程の学生（または研究生）、全国の高等専門学校生、ならびに神奈川、静岡、三重、岩手、宮城および福島県の工業高等学校の生徒に給付しています。

### [公益財団法人千賀法曹育英会](#)

指定の法科大学院の2年（既修者は1年目・未修者は2年目）または3年（既修者は2年目，未修者は3年目）に在学し、法科大学院から推薦を受けた人に給付しています。

### [一般社団法人 生命保険協会](#)

厚生労働省指定の介護福祉士養成施設のうち、指定の専門学校・短期大学に在学する学生に奨学金を給付しています。

### [公益財団法人資生堂社会福祉事業財団](#)

将来、児童福祉分野で働くことを希望として大学、短期大学、専門学校へ入学する高校3年生を対象に児童福祉奨学生として支援します（年間50万円）。

### [一般財団法人 佐々木泰樹育英会](#)

建築を専攻する大学院生または研究者および日本国籍を有する司法修習生が対象です（年額100万円）。

### [一般財団法人 大黒天財団](#)

大学、短期大学、専門学校またはそれに準ずる学校（私塾）の正規課程に在学している者に奨学金を給付しています（年額60万円）。

### [認定 NPO 法人 金融知力普及協会](#)

高校生向けに開催される「エコノミクス甲子園」というクイズ大会に出場した高校生の中から数名に、金子・森育英奨学基金から、大学進学のための奨学金を給付します（年50万円）。

### [公益財団法人山田長満奨学会](#)

国内に所在する大学生、大学院生などに奨学金を給付します（月額12万円）。また、神奈川県川崎市や東京都の高校生に奨学金を給付します（月額2万円）。

### [一般財団法人教育支援グローバル基金](#)

給付型の奨学金（年額72万円）と年間を通じて開催される人材育成プログラムの両軸からなるプログラムを提供しています。

## 私の将来の夢



私の夢はスポーツ障害に特化した鍼灸師になることです。

鍼灸師を目指す理由は、自分が、育ってきた環境が大きく関係しています。

私は10年間児童養護施設で生活してきました。

その施設はなかなか自由に外に出たり、友達と遊んだりということが出来ませんでした。

その中で唯一外に出ることが出来たのが、スポーツを習っている子でした。

私も最初は、先輩がソフトボールを習っているからという理由と、外に出たいという理由だけでソフトボールを習うようになりました。そしたら、みるみるうちにソフトボールの魅力にハマっていきました。練習は、きついし、先輩には、こき使われるしで、大変な毎日でしたが、それ以上にとても楽しかったし、努力したらその分監督やコーチ、先輩、チームメイトに沢山褒めてもらって試合にも出してもらって、努力は、とても大切なんだということを、初めて感じた時期でもあったことを鮮明に覚えています。

その中でも、ハードな練習が、毎日毎日続くと、怪我をする子達も少なからずいました。

前十字靭帯断裂、捻挫、骨折、脱臼、腰痛など、普段耳にはするけれど、それを目の前で目にすることはとても痛々しいものでした。

痛そうというのがありますが、何より、その選手達が努力しているのをずっと見てきているのに、試合前に腰を痛めたり、手首を痛めたり…。私の取り柄は、スポーツしかないものですから、その今までの努力をどうにかして、無駄にしないで、支えてあげられるんだらうということをやっと考えていました。私がソフトボールを辞めてから、将来的にどんな職業について働きたいのかと考えた時に、その時の経験が1番に頭をよぎりました。

努力している人達の支えになりたい。

私が経験したスポーツの分野で選手を陰で支えることの出来る職業を手につけたいと考えました。

そして様々な職業が、ある中で、国家資格を取得でき、自分の力で開業することの出来る鍼灸師という職業が、あることを知り、様々な鍼灸治療のことを調べて行くうちに鍼灸師になって、スポーツ障害に特化した医療従事者になりたいと考え、今鍼灸師を目指してこの春から、専門学校に通うことができます。

3年後鍼灸の、国家資格を取得し、3年から5年間実践で勉強して、いずれ自分の鍼灸治療院を開業したいと考えています。

鍼灸は、300以上のツボや、解剖学など沢山の難しい勉強をしないと、なれない職業ですが、鍼灸師になれたあと患者様に与えられるものの方が遥かに大きいもので、尊いものだと思っているので、苦手の勉強に、バイトに、この3年間夢を叶えるため自分が出来る最大の努力をしていきたいと思っています。

夢を持てる環境に今自分が置かれていることに感謝して、日々を生きていきたいと思います。

以上、私が鍼灸師を目指す理由です。

乳児院、児童養護施設、里親、児童自立支援施設、自立援助ホーム生活経験者 現在18歳女性

## 読んでみてほしい書籍一覧

### ①夢をかなえる力 児童養護施設を巣立った子どもたちの進学と自立の物語

著者/訳者 読売光と愛の事業団/編

出版社名 明石書店 (明石書店)

発行年月 2010年8月

販売価格 1,575円

本の内容

児童養護施設からの大学等への進学率は一般進学率の5分の1に過ぎず、経済的な理由で夢をあきらめざるをえない子どもたちも多い。そんな逆境を乗り越えて進学・就職を果たした42人の若者による、自立の苦勞と喜び、社会への思い、そして後輩へのメッセージをこめたエッセイ集。

### ②しあわせな明日を信じて2 作文集乳児院・児童養護施設の子どもたち3年後の便り

著者/訳者 長谷川真人/監修 吉村譲/監修 吉村美由紀/監修

こどもサポートネットあいち/編

出版社名 福村出版

発行年月 2012年4月

販売価格 1,785円

本の内容

乳児院や児童養護施設で暮らす子どもたち、成長して巣立っていった卒園者たちの施設生活や家族への思いを三年毎にたどる作文集の続編。全国の施設へのアンケート結果も収録。

### ③児童養護と青年期の自立支援 進路・進学問題を展望する

著者/訳者 喜多一憲/編集代表 長谷川真人/編集代表 神戸賢次/編集代表 堀場純矢/

編集代表 全国児童養護問題研究会編集委員会/編

出版社名 ミネルヴァ書房 (ミネルヴァ書房)

発行年月 2009年7月

販売価格 3,150円

本の内容

本書は、全国児童養護問題研究会が創設当時から取り組んできた課題である「青年期の自立支援」に関する取り組みをまとめたものであり、進路・進学問題に関する支援のあり方を考察したものである。また、最後に施設経験者である大学卒業生等による提言が盛り込まれ、援助者の視点だけではなく、双方向の視点から「青年期の自立支援」のあり方を考察できる内容となっている。児童養護関係者必読の1冊。

### ④施設から社会へ羽ばたくあなたへ 巣立ちのための60のヒント ひとり暮らしハンドブック

著者/訳者 林恵子/編著

出版社名 明石書店 (明石書店)

発行年月 2010年9月

販売価格 1,575円

## 本の内容

児童養護施設から社会に出る子どもたちは、将来ひとり暮らしで困ったことがあっても、気軽に相談できるおとなが近くにいないことが多いでしょう。でも、施設にいるあいだに必要な知識や情報を得て、早めに準備をはじめれば、もっと未来に希望を抱くことができるのではないのでしょうか。このハンドブックには、児童養護施設のそんな中学生・高校生たちに伝えたいことがつまっています。そして、施設のスタッフのみなさんはもちろん、児童相談所など児童福祉行政にたずさわる方々や、児童福祉を学ぶ学生さん、先生方など多くのおとなの方々にも、きっと役立ちます。

## ⑤マイル 極貧からCAへ芸能界へ、階段をのぼる私

著者/訳者 松尾知枝/著

出版社名 講談社 (講談社)

発行年月 2012年2月

販売価格 1,470円

### 本の内容

極貧の生活、児童養護施設での日々。進学率10%から大学に進み、JALのCAとして大空を翔け、グラビアタレントとして芸能界に飛び込む。どんなに転んでも、起き上がり続けた著者の20年。

## ⑥13歳の進路

著者/訳者 村上龍/著 はまのゆか/絵

出版社名 幻冬舎 (幻冬舎)

発行年月 2010年3月

販売価格 1,365円

### 本の内容

高校、大学、高専、大検、通信教育、奨学金、専門学校、職業訓練など。村上龍があなたに送る、夢と勇気の進路ガイド。

## ⑦13歳のハローワーク

著者/訳者 村上龍/著 はまのゆか/絵

出版社名 幻冬舎 (幻冬舎)

発行年月 2003年11月

販売価格 2,730円

### 本の内容

「いい学校を出て、いい会社に入れば安心」という時代は終わりました。好きで好きでしょうがないことを職業として考えてみませんか？花、動物、スポーツ、工作、テレビ、映画、音楽、おしゃべり、料理...いろいろな「好き」を入りに514種の職業を紹介。派遣、起業、資格など、雇用の現状をすべて網羅した仕事の百科全書。